

野蒜周辺被災地研修・西行戻しの松及び五大堂見学ガイド（2016.7.15）

梅雨の晴れ間の穏やかな午後、東北大学知のフォーラム（理学部担当）主催のエクスカージョンに、米国、ノルウェー、インド、中国からの 10 名と地元の先生及び研究者 7 名の方を野蒜周辺、西行戻しの松と五大堂に案内しました。

ガイドを、グループ GOZAIN の末永、阿部、服部が担当しました。

午後 2 時に理学部自然史標本館を出発し、1 時間ほどで奥松島観光情報センター（旧野蒜駅舎）に到着しました。センターに展示してある被災状況写真、震災遺構に指定された旧野蒜駅プラットホーム、旧野蒜駅舎、野蒜海岸の巨大な防波堤、旧野蒜小学校体育館跡地及び元の仙石線軌道跡などを案内しました。その後は松島に移動し、西行戻しの松及び五大堂を案内しました。五大堂では十二支のお話しで皆さん大変盛り上がりました。皆さんとは午後 5 時 30 分に松島海岸でお別れしました。



写真パネルで被災状況を確認している参加者の皆さん。



末永から上り仙台行き列車の被災状況を聴き入る皆さん。



津波到着地点を示すサインと写真に収まる参加者。



西行戻しの松のいわれを説明する阿部さん。



西行戻しの松のところで写真に収まる皆さん。



五大堂の説明は服部さんが担当しました。